

2024 雲は龍に従い 風は虎に従う 74回生 いざ行かん

姫路南高校入学以来 間もなく2年が経過します
 いよいよ最終学年！ いよいよ自分の進路は？ という言葉に振り回される一年です
 いきなり絵の具を使って描く画は 何度も何度も 上塗り・修正が必要です
 しっかり下地を整え 目標(A)を明確に 尊び敬い(R) 努力(E)しよう
 それが 自分の勝利の道となり 手にした道をパレードできる一年になるでしょう
 すべては己のために 健闘を祈ります

令和六年巳年元旦



2024年元旦は駅伝の帰郷で
 急須厨師に行くことになりました
 申し訳ない
 今年の日の出は前撮りしてお返しを



74 新破天荒



令和四年度より
 創刊
 第27号



74回生の皆さん、保護者の皆様、2024年が
 明けました。改めて、明けましておめでとうござい
 ます。皆さんにとって、本年が素晴らしい年となる
 ことをお祈りいたします。

前号でも述べたように74回生にとっては今学期
 は、3学年零学期となります。

花火を打ち上げることはいくらでもできますが、
 皆さんがどんな花火を打ち上げたいのか、それをい
 つ打ち上げたいのか。そのために「誰が」「何のため
 に」「いつから」「何を」「どのように」準備を始めて
 行動していくのか、いつの時代も個人によって差が
 ついてしまうそんな時期が、この三学年零学期だと
 理解してほしいものです。

言うのは簡単 するのはみんなだ

三学期の立ち上がりを間違えないように。頑張り
 ましょう。



12月21日(木)

must を have to do と書き直すと
 want to にしやす、そして
 be glad to を感じられることが増える
 一言つてきついつきもある

12月22日(金)

節目 縁 を大切にすること
 その先に 運が生まれる
 と言うより 成功の確率が上がる



二学期終業式では活躍者に対するアンテナが低く
 ごめんなさい。各部優秀選手で、原稿依頼が漏れて
 いた人は、次の機会はそのならないように気を付け
 ます。

空手道部

近畿新人大会

女子組手 ベスト16

出場者 梶原 つかさ(1組)

富井 心美 (4組)

田中 葵 (5組)

宮原 葵 (1組)

中田 安佳音(2組)

女子バレーボール部

県新人大会

ベスト8

優秀選手 木下 麗音 (2組)

西播新人大会

3位

優秀選手 奥 梓水 (4組)

女子バスケットボール部

西播新人大会

優秀選手 成田 心春 (3組)

一月の予定

- 九 日(火) 始業式 服装指導
- 課題考査(時間割は追って連絡)
- 十日(水) 課題考査 および 授業
- 十一日(木) 進路希望調査
- 修学旅行前健康相談
- 十三・十四日(土日) 共通テスト(来年は君達だ！)
- 教育相談
- 十六日(火) 阪神淡路大震災追悼行事
- 十七日(水) 修学旅行荷物発送(朝)
- 十九日(金) 全国総合学力テスト
- 二十日(土) 進研記述模試(午・前中)
- 二十一日(月) 修学旅行結団式
- 二十三日(火) 修学旅行(金)
- 三十日(火) 教育相談

二月の予定

- 三・四日(土日) 進研マーク模試
- 十一日(日) 建国記念の日
- 十二日(月) 振替休日
- 十三日(火) 大掃除(7限)
- 十四日(水) 特色選抜入試前日
- 十五日(木) 特色選抜入試
- 十四・十五日は生徒登校禁止
- 二十一〜二十八日(水) 学年末考査
- 大掃除・式場準備
- 二十七日(火) 卒業式予行
- 二十八日(水) 卒業式
- 二十九日(木) 卒業式

今月の ……の勧め

一月	「無駄」
二月	「諦めない」
三月	「捨てる」
四月	「チャレンジ」
五月	「さかのぼる」
六月	「テレビ」
七月	「大空間」
八月	「無」
九月	「こだわり」
十月	「信念」
十一月	「探る」
十二月	「自制する」
一学期末	「勇気を探す」
二学期末	「悩むこと」
一月	「本気でぶつかること」
二月	「この世界の片隅を大切に」
三月	「主体性」
四月	「客観性」
五月	「ルーティーン」
六月	「スマホとの向き合い方」
七月	「詩に触れる」
八月	「破壊する」
九月	「想いを再生する」
十月	「夢を目に触れるようにする」
十一月	「アナログ」
十二月	
一学期末	
二学期末	
一月	

年末のニュースとしては、早ければ来年秋に葉書郵送料が一枚当たり約二〇円値上げになりそうです。「虚礼廃止」と叫ばれて久しくなりますが、この正月に私はおよそ五五〇枚ほど年賀状を送りました。妻はおよそ八〇〇枚。随分、日本経済に協力をしているかと思えます。ただ、「来年以降は少し考える？」という話題も。頂いた年賀状にも、「今年を以て年賀終い」という文言も結構ありました。

ところで「虚礼」とは？

広辞苑によると「しきたりやつき合いから形式的に行う、誠意の伴わない礼儀」とあります。約一四〇枚ほどの「虚礼」を、我が家は毎年行っているのでしょうか？

受け取り方は人それぞれです。後日、皆さんに紹介・配布する「2024私の通知表」で判断してもらえたらと思います。550枚それぞれに、高々毎年1〜3行の文章でも、その何倍の文章、想いを乗せて送り届けてくれる一年の挨拶に、「虚礼」の一言では「失礼」で済ますことの方が「失礼」を通り越して「無礼」だと思います。

その「アナログ」な行為を、皆さんはいつ気付くことができるか。

「虚礼廃止」を謳われた当時の校長先生方五名と、年一回の「アナログ」な会話を楽しめている今年の結果は、今をときめく「ICT」に真っ向から反抗しているように見えますが、「デジタル」でも「アナログ」でも、根底にあるものは、私たちの「心」であることに、一生の中でいつか「出会って」もらうことができるよう祈っています。

さて、74回生の皆さんの「心」を動かすには、あと何行の「想い」を乗せればよいか。是非、教授して頂ければと思います。

アナログの続き 年末年始の珍道中

年末に、高卒一年目の妻の教え子(結構な有名人)が、ニューイヤーマン(実業団)に出場する見込みとなり、急遽応援に行くことになりました。

場所は群馬。偶然そこには高校・大学の同級生が移住しており、宿泊させてもらうことになりました。彼の妻も大学の同級生。再会を楽しみにしつつ、お土産等も準備して、大晦日に出発しました。これが、今回の年賀に学校からの初日の出の紹介を断念した理由でもあります。

道中、駒ヶ岳SAで昼食を撮りつつ連絡をした所、何と！「嫁がコロナに感染！」。奥さんの体調を心配しつつ、「流石嵐を呼ぶ女」と笑いつつ、さて今日の宿をどうするか？神様はいるものです。前橋(ほぼスタート地点)に宿を押さえることに成功！友人と再会を済まし、翌日の予定を確認した後、宿泊先に。

すると何と！そこには、西脇工業高校が全国駅伝で初優勝したときのアンカーの方が、監督をされているチームが……。監督は私にとってはスーパースター。チームのエースは、妻が競技会で、何度もアナウンスし励ました、よく言葉も交わす生徒。

神様の嬉しいいたずらを、喜ばずにはいられません。彼の姿を見ることができたのは、翌日のレースで1区のアクシデントで、大きく最下位から追い上げを図る、2区終盤での声掛けの場面でした。因みに、本来応援に行った卒業生は、物怖じすることなくチャレンジし、私達が移動して応援したポイントのわずか手前で転倒に巻き込まれたものの、その先、強い心を取り戻して「チームのために」自分ができることを、しっかり私達にもみせてくれました。

僅か3回ほどの声掛けのために七百キロ。私達にとっては、プライスレスでした。

翌日に、本校卒業生である亡き母と姫路南高校で学んだ親戚のおばさん(今は我が母かもしれないが)のお宅を訪問する予定だったので、この際、箱根駅伝を観戦することにし、茅ヶ崎に宿がとれました。その矢先あの惨事。阪神淡路大震災とリンクして、胸が痛んだ能登半島の大地震でした。

翌日のレースまでの間に、鎌倉鶴岡神社、江ノ島神社を訪れ、今年の「みくじ」を引きました。結果、「凶」と「小吉」。いずれも災難に負けるな！の矜持を得ました。どんな「災難」が待っているのか。

箱根駅伝の観戦では、「日本一強い学生」に試練が与えられた姿に触れました。知り合いでもないですが、目の前のその選手に「ご苦労様」と声を掛けずにはいられませんでした。

その後、母の親戚夫婦と十数年ぶりの再会。その娘さんとは何と！三十年以上ぶりの再会を遂げることができました。

すべては偶然。そして、様々な「縁」で過ぎた今回の旅行から、「アナログ」の良さ、その中で起きた「偶然」を敏感に感じることの大切さを感じた年末年始ではありました。

学年通信に掲載すべき内容ではないかもしれませんが、皆さんの生活、人生でも起こるべく、見落としてほしくないトピックスであったので、紹介させて頂ければと思います。

散歩道74

クラスコード 5luczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38 → Now 52

2ndGrade start 52

→ Now 57



「クライマーズ・ハイ」という日航機墜落をテーマにした映画で見た歩道橋だと、偶然の宿泊先を喜んでいました。年明け早々の羽田空港での惨事には、胸も痛みました。ただ、日航機側に被害者がなかったことは良かった……。

ぐんまちゃん、明日は穏やかな良い天気です。お願いしますね。



十二月三十一日(日)

学校のホームページにアップしてもらっている分はカラーなので、見易いです。是非どうぞ。登場する人物は、掲載許可を頂いています。

上手く見えるとよいのですが

一月一日(月)

群馬での初日の出から

日の出の
太陽

川根利

群馬県庁



同じく群馬県庁

ニューイヤークエストスタート地点



一区出場選手

実は、この二人はともに兵庫県出身選手。右側の背の低い選手が妻の教え子でした。



熱戦の観戦後、高崎の「だるま市」に友人とともに立ち寄りました。

その後、次の宿泊先の神奈川県茅ヶ崎市を目指しました。

到着する頃に、あの能登半島の大地震。私の人生で三度目の大地震。できるならば、こんな経験は一度でもしたくないものです。

亡くなられた方の冥福を祈り、地域の継続的な復興に何か一役を担えればと思います。

そんな重大な状況と把握できずのんびりとやってきたのが

鶴岡八幡宮



鎌倉殿

になった気分で、初詣を済ませました。

一月二日(火)

箱根駅伝観戦の前に、何かの聖地

私は「君の名は」かと思ったら
「スラムダンク」では？ と、
後日教えてもらいました。(鎌倉高校下)



江ノ島神社にも初詣



とても良い天気朝でしたが、

箱根駅伝第3中継所

に着く頃には
雲行きが怪しく



怪しいのは雲行きだけではなく、レース自身も又
波乱の展開を目の前で見ました。

優勝候補チームのエースが、私の正面で流してい
た涙が、この先の「成長のバネ」になればと思わず
にはいられません。

他人のくせに、思わず知り合いのように

「お疲れ様、この先頑張れ！」と声掛けをしてしま
いました。

その後、冷たい雨となりました。
が、親戚との温かい再会の後、雨が上がり

富士山が



姿を見せるフリをして、

しばらくは雲隠れ



ただ、最後には

雲の下に姿を見せて
この旅の終わりを見送ってくれました。